

各 位

2022年11月10日  
イカロス出版株式会社  
<https://www.ikaros.jp/>

## 1冊まるごとハワイのビール！ 楽園ハワイのブルワリー徹底ガイド 『BEER HAWAII 極上クラフトビールの旅 ハワイの島々へ』発売

インプレスグループで航空分野などのメディア事業を手がけるイカロス出版株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:山手章弘)は、旅のヒント BOOK シリーズ最新刊『BEER HAWAII (ビアハワイ) 極上クラフトビールの旅 ハワイの島々へ』(千喜良 登/千喜良 明日香 著)を発売いたしました。



近年日本国内でも「クラフトビール」が人気を博し、ブームが定着した感があります。もちろんハワイも同様、いやもっと大きなブームとなっているかもしれません。この7~8年ほどの間に、ハワイ各島各地に新しい個性的なブルワリーが続々とオープン。地元の人たちにも話題になっています。

そこで、今回ビールをこよなく愛するオアフ島在住夫婦が、ハワイ各島のブルワリーをあらためて巡り、飲んで、食べて、がっちり取材。ハワイのブルワリーとビールの魅力を熱く徹底的にご紹介します。

旅先でおいしいビールを飲みたいビール好きにはもちろん、ハワイリピーターにもおすすめしたい、新しいハワイの楽しみ方です。次の旅行は、おいしいクラフトビールを飲みに行きませんか？

### Honolulu Beerworks

ホノルル・ヒワワークス

#### オアフのヒノールン産のビール

産地を越え、島外はオープンブリューイングで、ハワイで最も有名なハワイの産地ビールを目指すと、オーナー兼マスターのジェームズ・マクドナルドは、ここから始めることに決めた。マクドナルドは、ここから始めることに決めた。マクドナルドは、ここから始めることに決めた。マクドナルドは、ここから始めることに決めた。



1. 産地を越え、島外はオープンブリューイングで、ハワイで最も有名なハワイの産地ビールを目指すと、オーナー兼マスターのジェームズ・マクドナルドは、ここから始めることに決めた。

2. 産地を越え、島外はオープンブリューイングで、ハワイで最も有名なハワイの産地ビールを目指すと、オーナー兼マスターのジェームズ・マクドナルドは、ここから始めることに決めた。



3. 産地を越え、島外はオープンブリューイングで、ハワイで最も有名なハワイの産地ビールを目指すと、オーナー兼マスターのジェームズ・マクドナルドは、ここから始めることに決めた。

そのブルワリーのビールの特徴はもちろん、ぜひ食べたいおすすめフードメニューやブルワー(醸造者)の思いなども。

### Mahalo Aleworks

マハロ・アレワークス

マハロ・アレワークスは、ハワイで最も有名なブルワリーの一つ。ここでは、ハワイ産のビールを醸造しています。オーナー兼マスターのジェームズ・マクドナルドは、ここから始めることに決めた。



4. 産地を越え、島外はオープンブリューイングで、ハワイで最も有名なハワイの産地ビールを目指すと、オーナー兼マスターのジェームズ・マクドナルドは、ここから始めることに決めた。



ハワイ島、マウイ島、カウアイ島にも個性的なブルワリーがあちこちに！ もちろん著者夫婦が実際に訪れ、飲んで、食べてご紹介しします。

### カカアコワード

カカアコワードは、ハワイで最も有名なブルワリーの一つ。ここでは、ハワイ産のビールを醸造しています。オーナー兼マスターのジェームズ・マクドナルドは、ここから始めることに決めた。

- Off the Wall Craft Beer & Wine
- Whole Foods Market
- Let Them Talk Bar
- カカアコワード

どこに行くか迷ったら、ブルワリーめぐりと街歩き両方が楽しめるおすすめエリアへ！ ショッピングの合間にクラフトビール、最高！！

### ホチキで飲む？ 海軍風に飲む？ 生ビールの持ち帰り方

海軍風の生ビールは非常に珍しいですが、小売店で見かける生ビールのほとんどは、缶詰やPETボトルで販売されています。最近では、生ビールを飲むのに最適な方法として、ホチキで飲む方法が注目されています。

#### Growler

Growlerは、ビールを注ぎ替えるための専用容器です。容量は16ozから64ozまであり、持ち運びが簡単で、保冷機能も備わっています。

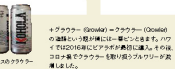


Growlerの容量は、一般的に16oz、32oz、48oz、64ozの4種類があります。持ち運びやすさを重視する場合は、16ozや32ozのサイズがおすすめです。

容量	重量	高さ	直径
16oz	約1.5kg	約25cm	約10cm
32oz	約3.0kg	約35cm	約12cm
48oz	約4.5kg	約45cm	約14cm
64oz	約6.0kg	約55cm	約16cm

#### Crowler

Crowlerは、持ち運びが非常に簡単なタイプのGrowlerです。容量は16ozから32ozまであり、持ち運びが楽々です。



Crowlerの容量は、一般的に16oz、32ozの2種類があります。持ち運びやすさを重視する場合は、16ozのサイズがおすすめです。



#### 生ビールを持ち帰りやすい方法

- 1. Growlerを使う: 容量が大きいので、持ち帰りやすいです。
- 2. Crowlerを使う: 持ち運びが非常に簡単です。
- 3. 専用の容器を使う: 専用の容器を使うことで、持ち運びが楽々です。
- 4. 専用の容器を使う: 専用の容器を使うことで、持ち運びが楽々です。

ブルワリーの生ビールはグラウラーなど専用容器で持ち帰れます。車を運転する時や日本に持ち帰りたい時に便利なその方法もしっかり解説。

### ビールにまつわるサイズの比較

ビールのサイズは、グラスの種類や容量によって異なります。一般的なグラスの容量は、4-5oz、8oz、12-13oz、16oz、32oz、64ozです。Growlerの容量も、16oz、32oz、48oz、64ozの4種類があります。

日本とは少し違うハワイのビール事情。安心して飲むために、グラスの容量や飲酒のルールをはじめ、ブルワリーへの移動方法なども解説します。

### ハワイの缶ビールコレクション

100 HAWAII BEER COLLECTION

ハワイの缶ビールは、世界中でも人気の高いコレクションです。ここでは、著者のコレクションから100本を一挙ご紹介。飲む、おみやげ用、どちらもぜひご参考に。

<p><b>Waikiki Brewing Co.</b></p> <p>Alaka'i Spilt Blonde Ale</p> <p>Hana Hou Hefe</p> <p>Waikiki Haze</p>	<p><b>Hana Koa Brewing Co.</b></p> <p>I Yam Legend</p> <p>Out &amp; About</p> <p>Amplified Overdrive</p>
--	--

ハワイの缶ビールにはオシャレでカワイイものがたくさん！ 著者のコレクションから100本を一挙ご紹介。飲む、おみやげ用、どちらもぜひご参考に。

## 【目次】

はじめに

### ●ブルワリーガイド

オアフ島・ホノルルとその近郊

オアフ島・郊外

ハワイ島

マウイ島

カウアイ島

### ●メイドインハワイのお酒 醸造／蒸留所ガイド

### ●ハワイ缶&瓶ビールコレクション 100

### ●MAP ~ オアフ島／ハワイ島／マウイ島／カウアイ島

## 【コラム】

ハワイのビール事情／知っておきたいキーワード／はじめてのブルワリーでは～来店から支払いまで

ビールに関するサイズ／ハワイでビールを楽しむための 10 のルールとマナー／ブルワリーへの移動手段

ビールと街を楽しめるおすすめエリア～カカアコ&ワード・カイルア／生ビールの持ち帰り方

味わいタイプ別僕らが好きな 1 本／“ビール犬”スタウト物語／ビールの基礎知識／ハワイのビールの歴史

ハワイ旅のヒント

おわりに

## ■著者紹介

### ○写真・文

#### 千喜良 登 Noboru Chikira

山形生まれ、主に千葉育ち。2012年、小笠原諸島父島からハワイへ移住。次々にオープンするブルワリーに通ううちにビール沼へとはまり込む。旅行関連の仕事をする傍らブログと2つのInstagramでハワイのビール情報をマイペースに発信中。

◎ブログ「ハワイでビール」

<https://hawaiiidebeer.com/>

◎Instagram

@hawaiiidebeer

@360beerlabel

#### 千喜良 明日香 Asuka Chikira

三重生まれ。子どもの頃5年間ほど米オハイオ州で育ち、中学高校は日本で卒業。その後大学入学を機に再びアメリカへ。大学院時代に住んでいたコロラド州フォートコリンズでクラフトビールに出会う。2008年ハワイ移住。漁業関連の仕事をする傍らおいしいビールと食の情報を日々追求している。

## ■書籍情報

書名：旅のヒントBOOK『BEER HAWAII 極上クラフトビールの旅 ハワイの島々へ』

著者：千喜良 登 / 千喜良 明日香

発行所：イカロス出版

発売日：2022年11月10日

ISBN：978-4-8022-1226-7

体裁：A5判・128ページ

定価：1,760円(本体1,600円+税10%)

URL：<https://www.ikaros.jp/sales/list.php?srhm=0&tidx=82&Page=1&ID=5325>

【イカロス出版】 <https://www.ikaros.jp/>

『月刊エアライン』を中心に航空、鉄道、ミリタリー、レスキュー分野で出版活動を展開。

さらに旅行、通訳・翻訳、ライフスタイルなどの分野でも多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

---

【本件に関するお問合せ先】

イカロス出版株式会社 編集担当：西村 薫

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105

E-mail: [nishimu-k@ikaros.co.jp](mailto:nishimu-k@ikaros.co.jp)

URL: <https://www.ikaros.jp/>